

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沖縄ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	ホテルマネジメント学科	夜・通信	53 単位	6 単位	
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	30 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社代表取締役社長（現職）	2021年3月 ～2024年3月	本学園の持続的安定経営推進
非常勤	株式会社営業所所長（現職）	2021年3月 ～2024年3月	本学園のグローバルな人材育成
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
(期末テストの受験資格)	
<p>期末テストについて、次の各号の一に該当する学生は受験資格がない。</p> <p>(1) 当該授業科目について授業時限数の3分の1(実習科目の場合は5分の1)を超えて欠席した者。</p> <p>(2) 当該授業科目の学力考査の開始時刻に20分以上遅れて入室した者</p>	
<p>学力考査は、原則として、学年の前半終了時及び後半終了時に期末テストとして、全授業科目について行う。授業科目の担当教員は、前項のほか、随時、担当科目について小テスト、中間テスト、レポート、学習意欲等を総合的に判断し数値化したものを評価とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行うこととする。また、定期考査終了後に面談を実施し、学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示を行い、学生指導に役立てる。</p> <p>満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dくお不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dは0点としGPAを算出する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第5条に規定する修業年限（スポーツ健康学科、スポーツ整体・メディカルトレーナー学科、製菓製パン学科は2年、救急救命学科、柔道整復学科、臨床工学科は3年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。</p> <p>ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沖縄ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
財産目録	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
事業報告書	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	ホテルマネジメント 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1815 単位時間/単位	1380 単位 時間/単位	単位時間 /単位	315 単位 時間/単位	単位時間 /単位	120 単位 時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		32人	32人	3人	2人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。 また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。 評価は成績分布状況の把握のために GPA 方式の導入を行うこととする。また、定期考査終了後に面談を実施し、学科ごとに GPA の分布や平均値を算出して提示を行い、学生指導に役立てる。満点を 100 点とし、90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C、60 点未満を D と表記し、S、A、B 及び C を合格とし、D を不合格とする。各ポイントは S を 4 点、A を 3 点、B を 2 点、C を 1 点、D を 0 点とし GPA を算出する。

卒業・進級の認定基準
(概要) 学則第5条に規定する修業年限(ホテルマネジメント学科は2年)以上在籍し、当該学科の定める所定の授業の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。 但し、以下の者には認めない (1)当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。 (2)実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者。
学修支援等
(概要) 学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 新規学科のため実績なし			
(就職指導内容) 面接対策			
(主な学修成果(資格・検定等)) ホテル実務技能認定試験、レストランサービス技能検定(HRS)〈国〉、TOEIC(R)			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由) 新規学科のため実績なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 新規学科のため実績なし		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2070 単位時間/単位	690 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1380 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		44人	0人	3人	13人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）学則に基づき授業の方法及び内容、到達目標、並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。評価は成績分布状況の把握のために GPA 方式の導入を行うとする。また定期考査終了後に面談を実施し学科ごとに GPA の分布や平均値を算出して提示を行い学生指導に役立てる。</p> <p>満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B、及びCを合格とし、Dを不合格とする。各ポイントはSを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dは0点としGPAを算出する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）学則第5条に規定する修業年限（美容学科は2年）以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	人 (%)	16人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
ヘアサロン・まつエクサロン・ネイルサロン・ブライダル業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学級担任及び就職支援室での模擬面接の実施やインターンシップへの参加、企業訪問の実施。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>美容師国家試験・ネイリスト技能検定(2.3級)・装道礼儀法きもの学院(初級・入門)アロマ検定2級・パーソナルカラー検定3級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	1人	2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学級担任による定期的な個別指導、三者面談の実施。学力不足による学生に対して、基礎学力・実習の向上を目的とする補習授業を実施。</p>		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ホテルマネジメント学科	150,000 円	650,000 円	300,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持費とする)
美容学科	150,000 円	570,000 円	300,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持費とする)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から学校評価を実施し、学校ホームページ上に公表する。 <a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って自己点検・自己評価を実施し、その結果をもとに、関連業団体有識者、企業役員、保護者・卒業生代表で構成される学校関係者評価を実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
山内 優子 (美容学科) 沖縄県美容業生活衛生同業組合理事長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
金城 さゆり (美容学科) 沖縄県美容業生活衛生同業組合副理事長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
上地 武 (美容学科) ヘアードヘッドスパクター代表者	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
山内 彩梨沙 (美容学科) 卒業生	H31. 4. 1～R3. 3. 31	卒業生
竹内 勇輔 (美容学科) 卒業生	R3. 3. 16～R5. 3. 16	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/">https://sola.ac.jp/syokugyo-jissen/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://sola.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	沖縄ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		29人	26人	55人
内 訳	第Ⅰ区分	22人	20人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				55人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人

年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	3人	5人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	3人	0人

(備考)

スターウッド BeB 美容専門学校の後半期の内、4名は特例②に該当、1名は警告1回目

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。